

平成 30 年度神戸市人と猫との共生推進協議会 第 1 回定例会議録

1. 日 時

平成 30 年 5 月 18 日（金） 14：00～15：30

2. 場 所

神戸市勤労会館 4 階特別会議室（中央区雲井通 5 丁目 1-2）

3. 出席者

(1) 構成団体 11 団体の内 7 団体出席（規約第 6 条第 2 項の規定により会議成立）

(2) 出席者氏名 別紙出席者名簿のとおり（一般傍聴者 0 名）

4. 議 事

【協議事項】

(1) 平成 29 年度事業報告

・野良猫の繁殖制限事業（不妊去勢手術 2051 匹、給餌・糞尿等に関する指導助言（TNR 事前調査等で 13 地域）、譲渡の推進（譲渡会 10 会場の情報提供）等について事業報告。

(2) 平成 29 年度決算報告

・収入 19,127,182 円（市補助金 17,000,000 円、寄付 2,127,136 円、雑収入 46 円）、支出 18,897,455 円（手術費用等野良猫繁殖制限事業費 17,257,892 円、給餌等指導助言費 85,720 円、猫の譲渡推進事業費 15,017 円、定例会議費 46,688 円、事務費 414,375 円、保険料 128,070 円、事業立上経費 949,693 円）、繰越金 229,727 円について報告。

(3) 平成 30 年度事業計画案

・29 年度同様、野良猫の繁殖制限事業、給餌・糞尿等に関する指導助言、譲渡の推進等を実施。野良猫の不妊去勢手術は 1,100 匹。

(4) 平成 30 年度予算案

・収入 11,330,000 円（市補助金 11,000,000 円、繰越金 229,727 円、募金・寄付 100,273 円）、支出 11,330,000 円（手術費用等野良猫繁殖制限事業費 10,292,000 円、給餌等指導助言費 120,000 円、猫の譲渡推進事業費 20,000 円、定例会議費 66,000 円、事務費 600,000 円、保険料 132,000 円、予備費 100,000 円）についてそれぞれ報告。

※協議事項 (1) ～ (4) についてはいずれも承認

【報告事項】

- (1) ネスレピュリナペットケアが主催したネコバス譲渡会について
 - ・平成30年4月14日（土）、15日（日）に、ネスカフェ三宮前公開空地で開催。2日間で132名参加、16匹中15匹について希望があり、そのうち8匹がトライアル成立。
 - ・次回、6月30日（土）、7月1日（日）を予定。

【連絡事項】

- (1) 神戸市
 - ・平成29年度のネコの引取状況（引取609匹、譲渡237匹、殺処分351匹）、ふるさと納税（速報値で684件、1375万円）について報告
 - ※譲渡数と殺処分数の計が引取数と異なるのは一部年度をまたがるケースがあるため。
- (2) 各構成団体よりお知らせ
 - ・Knotsより、6月10日開催の「第18回りぶらぶらアニマルズFESTIVAL2018」について案内。

【意見交換】

・公園での地域猫活動では、公園管理会や自治会の理解が得られないところも行政の後押しがあればスムーズにいくことが多い。また、市営住宅の多頭崩壊の問題もあるので、今後も関係部局との連携をお願いしたい。

・協議会の繁殖制限支援制度についてボランティア団体から喜ばれている。

・猫の引取のリピーター対策については、役所や協議会で情報を共有し、重点的に繁殖制限を実施し、効果を上げていきたい。

～以上、神戸猫ネット

・動物管理センターで協議会事業の不妊去勢手術を行っているが、使用日時に制約があるなどの課題がある。

・高齢者の生きがい、健康対策としてのペットの譲渡を獣医師会、医師会として考えている。

・子猫の殺処分を減らすため、対策として繁殖シーズンなどではミルクボランティアを増やすことが必要ではないか。

～以上、市獣医師会

・千代田区の例では、1～2年で猫が減ることはなく、10年続けることによって生まれなく

なった。子猫が減れば、成猫を譲渡に回せることができ、負傷猫の治療費に予算を回すこともできるようになる。

- ・高齢施設でのペットの受入には、事故防止のために、ペットの健康管理や管理者がだれかなどを明確にする必要がある。

～以上、動物福祉協会

- ・高齢施設でのペットの飼育は受入体制が十分整備されていない。共生という意味では、市民生活の中で育てていくべきでは。

- ・公園の管理などボランティア制度で取り組んでいるが、高齢化や人口減などボランティアに期待するのも難しい。市民生活の中でどう解決していくかを考え、仕事として仕組みを考えるなど関係機関と協力して解決策を考える必要がある。

～以上、Knots